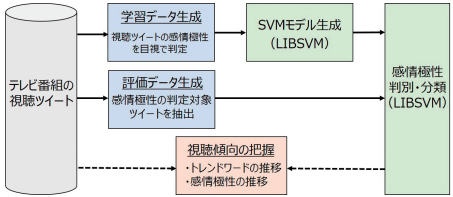
ツイートの感情極性を利用したテレビ視聴傾向の評価手法

キーワード　ソーシャルメディア／ツイート／感情極性／機械学習／視聴率

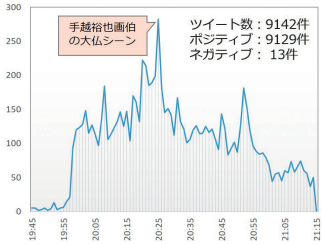
研究概要

テレビ番組や映画を視聴しながら実況や感想をツイートする視聴者が増えている。この視聴ツイートをリアルタイムに取得することで、視聴者が反応している役者やシーンなどを番組中に把握することが可能である。この視聴傾向を高精度で得るためには、視聴ツイートからノイズツイートを除去し、視聴ツイート（視聴者）の感情的推移をうまく把握する必要がある。

ハッシュタグで取得した過去の視聴ツイートからノイズツイートを除去し、ポジティブなツイートとネガティブなツイートを目視で判定して、SVM学習モデルを生成する。この学習モデルに基づいて、リアルタイムに取得した視聴ツイートの感情極性を自動的に判定・集計することで、視聴者の感情極性の推移を把握できるシステムを開発している。



視聴ツイート感情極性の判別手法



視聴ツイート感情極性の評価事例（毎分推移）

今後の展開やメッセージ

テレビ番組の視聴率とツイート数については一定の相関性があることが確認されています。本研究では番組の内容とツイートの感情極性との関連性について、評価指標の開発も含めて検討しています。特定のシーンや役者の演技に対する視聴者の反応傾向を、感情推移の観点から把握して評価できるようなシステムの研究開発を進めます。

研究者情報

阿部 倫之 教授・工学博士
工学部　情報工学科
所属研究所：情報技術AI研究所

研究者情報URL
https://www.kanazawa-it.ac.jp/kyouinroku/a/BCABB.html
https://researchmap.jp/abe_n